

第3回大分市教育ビジョン検討委員会 会議要旨

日時：平成 28 年 8 月 30 日（火） 15:00～17:00

場所：大分市教育センター 研修室 202

○出席者 13名、欠席者 2名

1. 開会

2. 会長あいさつ

伊藤会長から開会に当たってあいさつ。

3. 議事

(1) 構想・計画・指標の検討について

資料を基に、事務局から基本計画のうち基本方針2「子どもたちの学びを支える教育環境の充実」と基本方針3「社会教育の推進と生涯学習の振興」に係る内容を説明する。

◆基本方針2 子どもたちの学びを支える教育環境の充実

●重点施策(1) すべての子どもの学びの保障

<主な意見・質問等>

【委員】最近、他県でのいじめのニュースをよく目にする。ある程度の自殺の兆候が出ていて事前に防げたものもあったのではないかと思うが、大分市でこうした事例はあるのか。

【事務局】大分市の場合、確たるものでなくてもいじめと思われるレベルの事案があれば教育委員会に一報を入れてもらう「いじめ第一報」というものに取り組んでおり、現在継続した支援を行っている事案を除く約98%の事案が解決できている。把握している限りでは自殺に至ったものや人間関係が完全に破綻したものは無い。

【委員】いじめや不登校が発生した時の対処の方針を教えて欲しい。

【事務局】各学校でいじめ防止基本方針を作成しており、教員によって対応の差が出ないようにしているが、事案によって状況が異なるので一律にこうしなさいと示しているものは無い。

【事務局】いじめが発生した時はまず校内委員会で話し合うので、一度は学校全体で話し合うことになる。重要なことは、担任が自分で抱え込まないことだと思う。

【委員】全小中学校に対してスクールソーシャルワーカーの支援体制を整備するようだが（資料P2）、それだけの人材を確保できる見込みはあるか。

【事務局】全国的にスクールソーシャルワーカーの配置が増えてきているので人材確保はなかなか難しいが、状況を見ながら中学校区を拠点にした配置をしていきたい。

【委員】不登校の原因は、学校で起こったことよりも家庭の貧困や虐待といった家庭内のトラブルなどの方が大きいと思う。子どもに関する問題が大きくなるようにするためには、スクールソーシャルワーカーなどが家庭内の問題にきめ細かく対応することが大事だと思う。

【会長】スクールソーシャルワーカーは家庭のデリケートな部分にもかかわることもあるので、スクールソーシャルワーカーに対する研修の質も考えなければならない。

●重点施策（2）次代の変化に対応した教育環境の整備

<主な意見・質問等>

- 【委員】情報セキュリティに関する研修はもちろん大事だが、居酒屋などで先生達が個人情報を出して話をしているところを何度か見たことがあるので、そういうことに対する研修もしておくと思ふ。
- 【委員】教員は情報セキュリティの専門家ではないので、研修を受けたからといってシステム障害が発生した時に対応できるかと言えはできない。佐賀県でシステムから個人情報が漏洩した事例があったように、教員の研修のレベルを超えていることもあるので専門家や専門業者も必要だと思ふ。
- 【委員】校舎の余裕教室の活用（資料P4）に関しては、児童育成クラブとして使いたいという希望が多いと思ふが何か条件があるか。
- 【事務局】通常の教室や少人数指導教室などを除いて余裕教室として使用することが可能と判断したのについて積極的に活用しているが、児童育成クラブの場合は、校舎の1階を使いたいという希望が多いので条件が合うところから活用している。
- 【委員】地域住民にとっては利用可能な施設が限られているので、余裕教室を地域にも開放して欲しい。
- 【委員】具体的施策②の指標（資料P3）を見ると、小中学校の普通教室へのエアコン設置率が平成31年度に64%、平成36年度に100%となっている。別の会議でもっと早い時期に100%になるのを見た気がするが、どのような計画になっているか。
- 【事務局】30年度に全中学校、31年度に小学校の半分、32年度に残りの半分の小学校に設置する計画になっており、32年度に市内の小中学校への設置率が100%となる。
- 【委員】普通教室にエアコンが設置されたからといって夏休みが短縮されるようなことは無いのか。
- 【事務局】授業時間の確保は非常に大事なことでそれをどこで確保していくかということが問題となる。土曜日に授業を行うことは非常に厳しい状況なので、夏休みに数日程度授業を実施する方向となると思われる。

●重点施策（3）教職員の指導力の向上

<主な意見・質問等>

- 【委員】重点施策（4）（資料P8）でも地域人材を活用した学習支援のことが書いてあるが、やはり子どもたちの学力が分かっているのは先生なので、夏休みでも先生が学習支援をすることは可能か。
- 【事務局】夏休み期間中は小学校であればステップアップ学習、中学校であれば質問教室を実施している。さらに小学校においても、学力的に厳しい子どもや個別指導が必要な子どもに対しては適宜指導をしている。
- 【委員】小学校のステップアップ学習に参加したが、5日間開催して1日も来ない子どもがいる。そういう子どもたちの学力がどうなのか心配なので何か手を差し伸べたい。
- 【委員】具体的施策①（資料P6）の「ポータルサイト（T-LAB0）の充実」は先生の授業力の向上に有効で、子どもたちに直接つながっていくので大変素晴らしい取組だと思ふ。教職員の優れた実践や指導のポイント等を内容とする動画が何種類あるかということと、どのくらいアクセスされたかを教えて欲しい。

【事務局】指導教諭の授業を公開しているものが5種類、指導のワンポイントが24種類、指導技術と教職員の提言が15種類、合計44種類の動画を配信している。アクセス件数は、今年4月の配信開始から1,830件となっている。

【会長】指導案や学習プリントもセットで配信されているので、ただ動画を見るだけでなくそれらと組み合わせて見られるようになっており、授業の動画も45分もしくは50分まるごと配信しているので大変有益なものだと思う。もっと周知してより多くの先生に見て欲しい。

●重点施策（4）地域と連携した取組の推進

＜主な意見・質問等＞

【委員】資料の2ページにいじめ・不登校のことがあったが、9ページにもいじめ・不登校に関する取組がある。体系の違いによって関連する取組が別のページにも出てくるので、そのことを表示すると分かりやすくて良いと思う。

【会長】具体的施策④（資料P9）の指標にいじめの認知件数と不登校児童生徒数があるが、この2つは性質が異なる気がする。いじめの認知件数は多いからといって一概に悪いとは言えず、先生が注意深く見たために発見できたということもあると思う。

【委員】いじめの認知件数が多いことはかえって細かく見ている結果でもあるので、問題は解消率だと思う。認知件数を指標にするのであれば解消率も指標にした方が良いと思う。不登校については大分市は全国平均と比べると多いようなので、何らかの具体的な言葉と指標があると良いと思う。

【事務局】道徳も含めた子どもたちの心育ををしていく中でいじめの未然防止に取り組んで行きたい。いじめがあれば軽微なものであっても子どもにとっては大きな負担になるので、そういう思いをさせなくて済めばそれがいいのではないかと思う。不登校についてもQ-U検査を実施するなど様々な取組によって未然防止に努めている。

【委員】具体的施策②（資料P8）の指標を見るとかなりの数のコミュニティ・スクールを設置するようだが、情報が少ないため保護者も地域もどのように進めて行ったら良いかということが見えない。

【事務局】国の全国的な方針としてすべての学校にコミュニティ・スクールを設置する方向性である。具体的施策②にある平成36年度までに50校に設置するという指標も途中経過に過ぎない。

◆基本方針3 社会教育の推進と生涯学習の振興

●重点施策（1）生涯学習支援体制の充実

＜主な意見・質問等＞

【委員】社会教育施設のハード面の充実（資料P12）とあるが、うすき少年自然の家や霊山青年の家などが廃止になった。今後、そういった施設を拡充していく考えがあるか。

【事務局】人口減少社会の中で子どもたちの利用や需要がこれまでのように右肩上がりに増えていくことが見込めないため社会教育施設を拡充することは考えていないが、既存施設を活用し利用増加のためのハード整備を実施していく。

●重点施策（２）学習機会や内容の充実

意見・質問等なし。

●重点施策（３）地域活動の充実

意見・質問等なし。

●重点施策（４）地域における子どもの健全育成

<主な意見・質問等>

【委員】少子化で子ども会の加入率が低くなっていることについてどのように考えているか。

【事務局】大分市の子ども会の加入率は平成２７年度が８６％で、平成２３年度の８９．４％と比べると若干減少している。学校等を通してお知らせのチラシを配布し加入促進に努めている。

【委員】子ども会に加入すると役員をさせられるので加入したくないという保護者もいるようだ。

【委員】子どもたちはスポーツにしても、文化活動にしても、校区を越えて色々な団体に所属していると思うので、地域に限定した子ども会というスタイルが合わなくなってきている気がする。そういった色々な団体が連携して子どもの健全育成を考えていった方がいいのではないかと思う。

【委員】子ども会の加入は会費の問題もある。子ども会の行事にほとんど参加できないので加入しないという傾向があるため、会費の問題を解消するといいと思う。

【委員】子ども会に対する支援だけでなく、子どもの社会体験や自然体験などに対する支援も充実させたいと思う。

4. その他

事務局から次回の日程について説明する。

○第４回大分市教育ビジョン検討委員会は１０月４日（火）の１５：００から大分市教育センター研修室２０２で開催。

5. 閉会

荒金副会長から閉会のことば。